

「ことばのカトリアル第 13 号」

「海洋技術コース3年生 育樹祭準備」

平成 29 年 10 月 16 日 (月)、海洋工学科海洋技術コース 3 年生 10 名が、「京都府立丹後海と星の見える丘公園」様においてキャリアトライアルに取り組みました。

10 月 28 日 (土)、宮津ふるさとの森を育てる協議会が主催する、育樹祭「育てよう四季の森 2017」の開催に備え、その下準備として、下草刈り、山を開墾し作業道の整備に取り組みました。

岸見 典周 (綾部市立綾部中学出身)

私は、育樹祭の準備に参加するまで、森にこれほど多くの人が関わり、森を守っていることを知り驚きました。幼い頃から親しんできた公園や森は「きれいに整備されているのは当たり前」だと思っていました。しかし、今回、除草作業や植樹の準備を行い、森をつくる、森を育てることがとても大変なものであることを知りました。

作業終了後、過去に先輩方が取り組まれた作業現場を見学し、海洋高校の生徒の知識や技術が貢献できていることを知り、誇りに思いました。私たちも良い伝統を引き継ぎ、後輩たちへ伝えていきたいと思えます。



野口 悠耶 (京都市立洛西中学出身)

私たちは普段、溶接や溶断、測量等の実習を行っていますが、今回は剪定ばさみやのこぎり等を使用して、「育樹祭の準備」に取り組みました。今後、育てていきたい植物の中に雑草や竹が混ざっており、分別して刈る作業が想像以上に労力を要して大変でした。また、作業道の整備では、雑草や根が地中に張っており、1つずつ除去して作業を進めることはとても大変な作業でした。この実習を通じて、林業の技術の高さと労力の大きさを実感し、森林整備の必要性和難しさを強く感じました。

10 月 28 日に実施される育樹祭では、ボランティアスタッフとしてサポートしたいと思えます。



福島 利樹 (京田辺市立田辺中学出身)

急な斜面に笹や木が生い茂る現場でスタッフの方々に御指導いただきながら除草作業等に取り組みました。午後からは、木を杭として利用し、階段を製作し、作業道作りを行いました。普段使い慣れない鋏を使用して根をおこす作業は、とても根気のいる作業でしたが、少しずつ完成していく作業道を見て達成感を感じ、最後まで頑張ることができました。

作業後は、公園内で過去に先輩方が手掛けられた作業現場を見学しました。宮津湾が一望できる高台には小屋があり、先輩方が基礎工事から取り組み、建造されたことを知り、とても感動しました。

